

平成27年10月21日
国土交通省東北地方整備局
磐城国道事務所

相馬福島道路 相馬西道路 日本旅行業協会会員が復興支援道路の現場を見学

一般社団法人日本旅行業協会の皆さまが、復興支援道路として事業を進めている国道115号相馬西道路の現場見学をいたします。

この現場見学は、被災地に対する観光面からの復興支援を目的として実施される、視察ツアーの一環で行われるものです。

1. 日時 平成27年10月23日（金）12時45分 ～ 14時

2. 場所 相馬福島道路 相馬西道路

（仮）^{いまだ}今田高架橋、（仮）^{しおでやま}塩手山トンネル

3. 見学者 一般社団法人日本旅行業協会会員 約50人

4. 取材に当たってのお願い

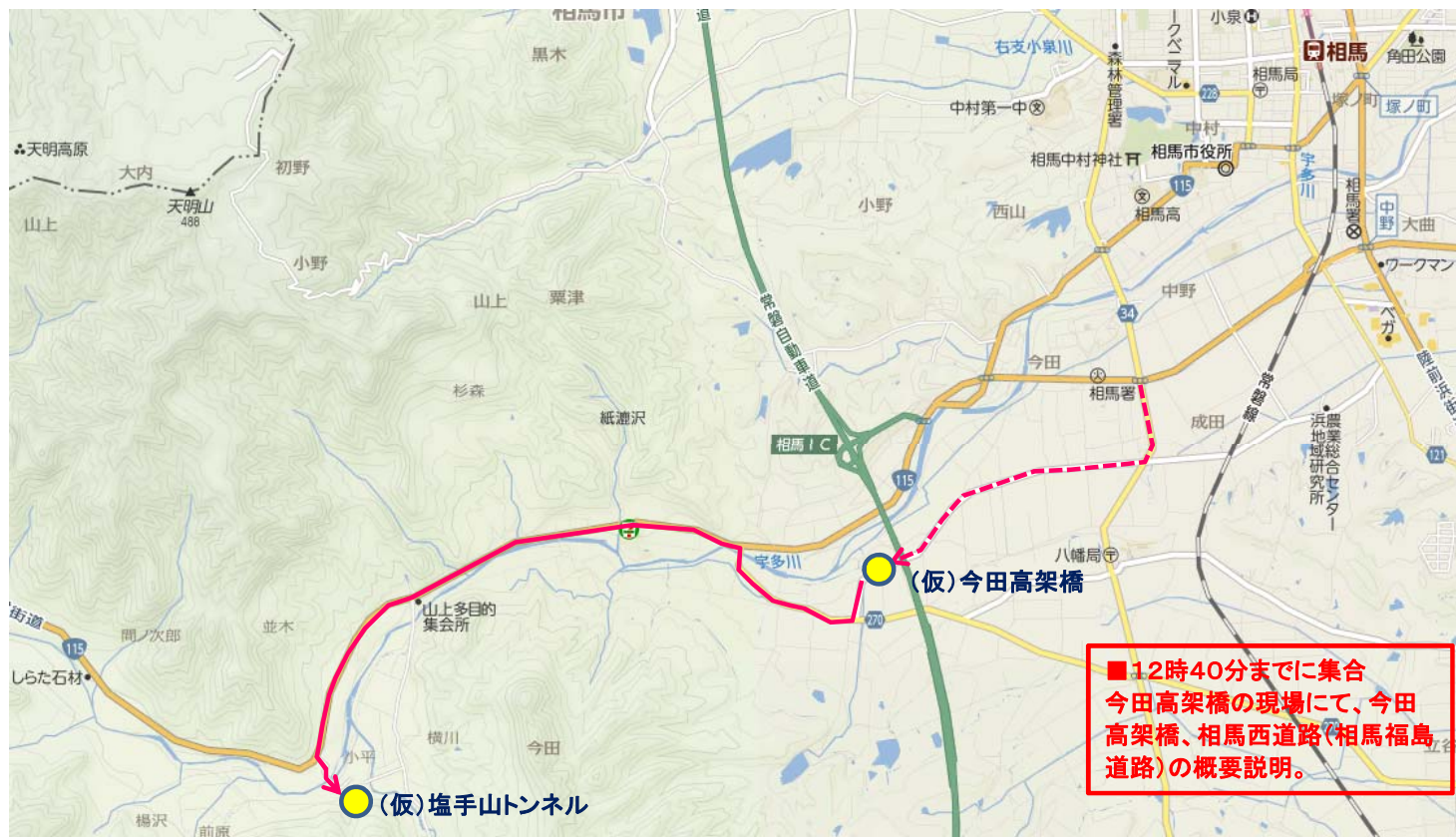
- ・取材をいただける報道関係の方は、12:40までに（仮）今田高架橋の工事現場（別添位置図参照）にお集まり下さい。
- ・視察ツアー参加者への取材、ツアー内容に関する取材は、日本旅行業協会を介しての依頼となります。

発表記者會等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、
福島建設工業新聞、南相馬市役所記者クラブ

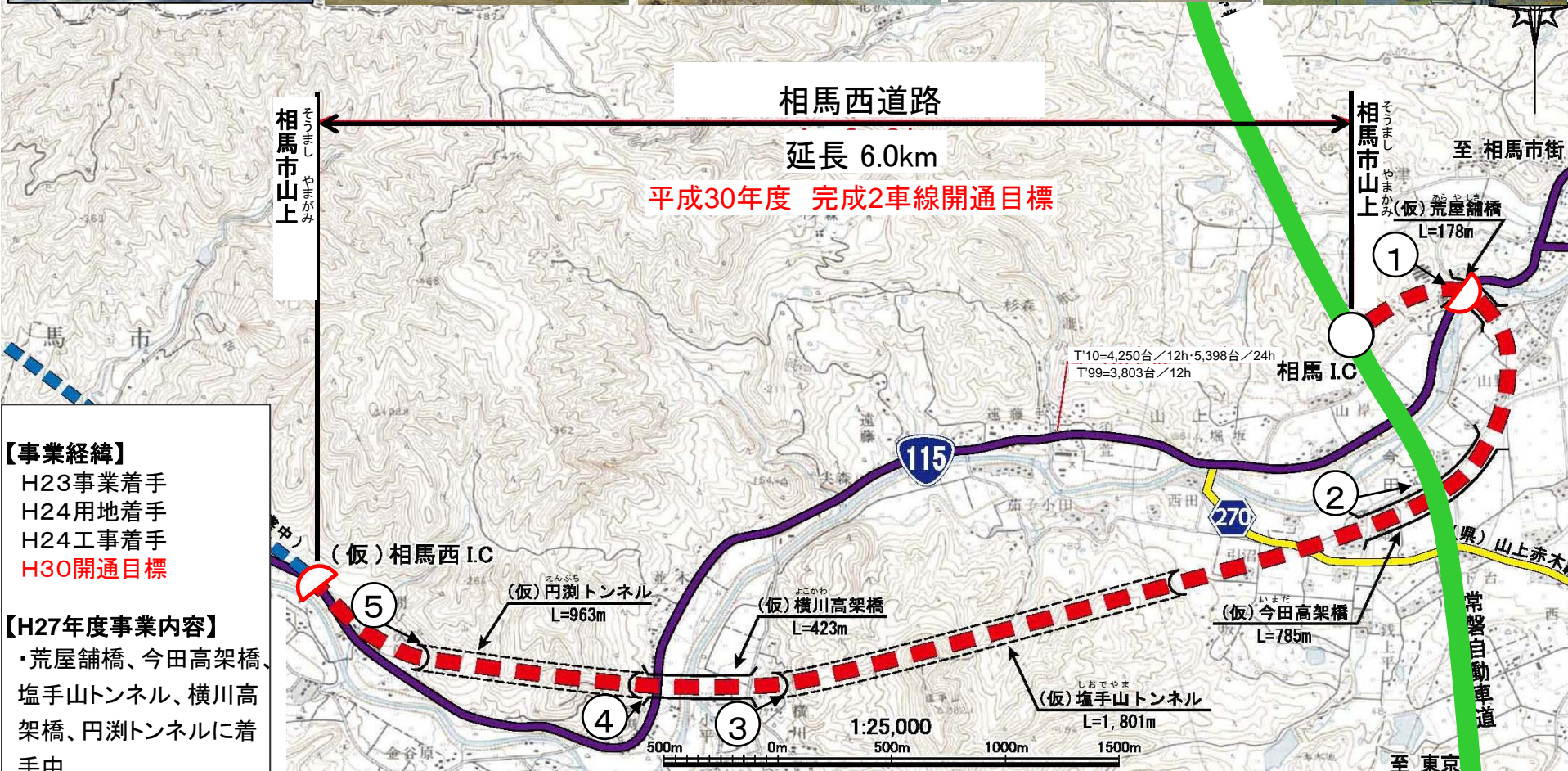
問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所
TEL 0246-23-2211（代表）
副所長 千葉 富彦（内線204）
工務課長 岩渕 誠（内線411）

位置図



相馬西道路 進捗状況 (平成27年10月現在)



【事業経緯】

- H23事業着手
- H24用地着手
- H24工事着手
- H30開通目標

【H27年度事業内容】

- 荒屋舗橋、今田高架橋、塩手山トンネル、横川高架橋、円渕トンネルに着手中

【復興支援道路】 一般国道115号 相馬福島道路の概要

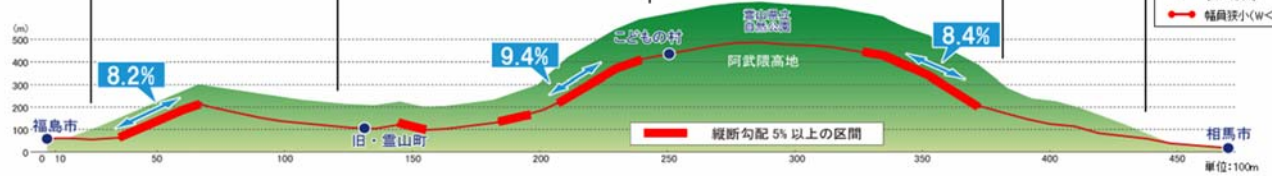
相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。

【平面図】



【縦断面図】

国道115号



国道115号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障

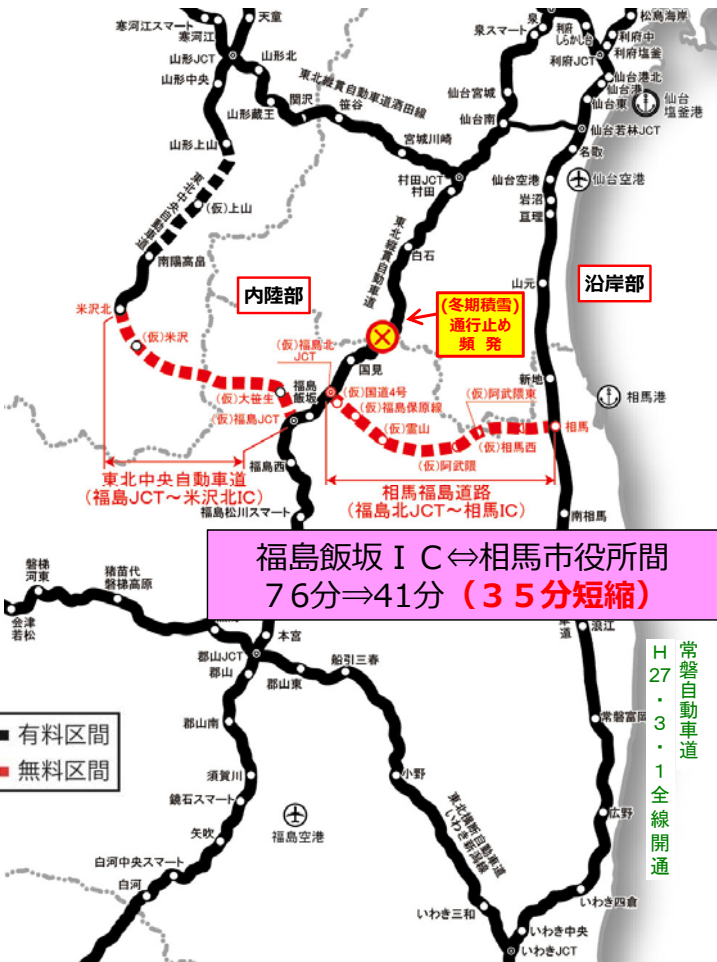


急カーブ・急勾配箇所多数



沿線住民の安全な生活に支障

メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



・相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している ⇒ 大幅な迂回損失が発生

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格

メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



- 緊急輸送道路（第一次確保路線）
- △ 防災上の対策が必要な箇所（26箇所）
- × 通行止リスク箇所
- 津波浸水被害エリア

国道115号は、災害等による通行止めが頻発
(通行止15回/16年)

※H11～H26

▼落石等により寸断された国道
国道115号相馬市山上地区（H18年6月）

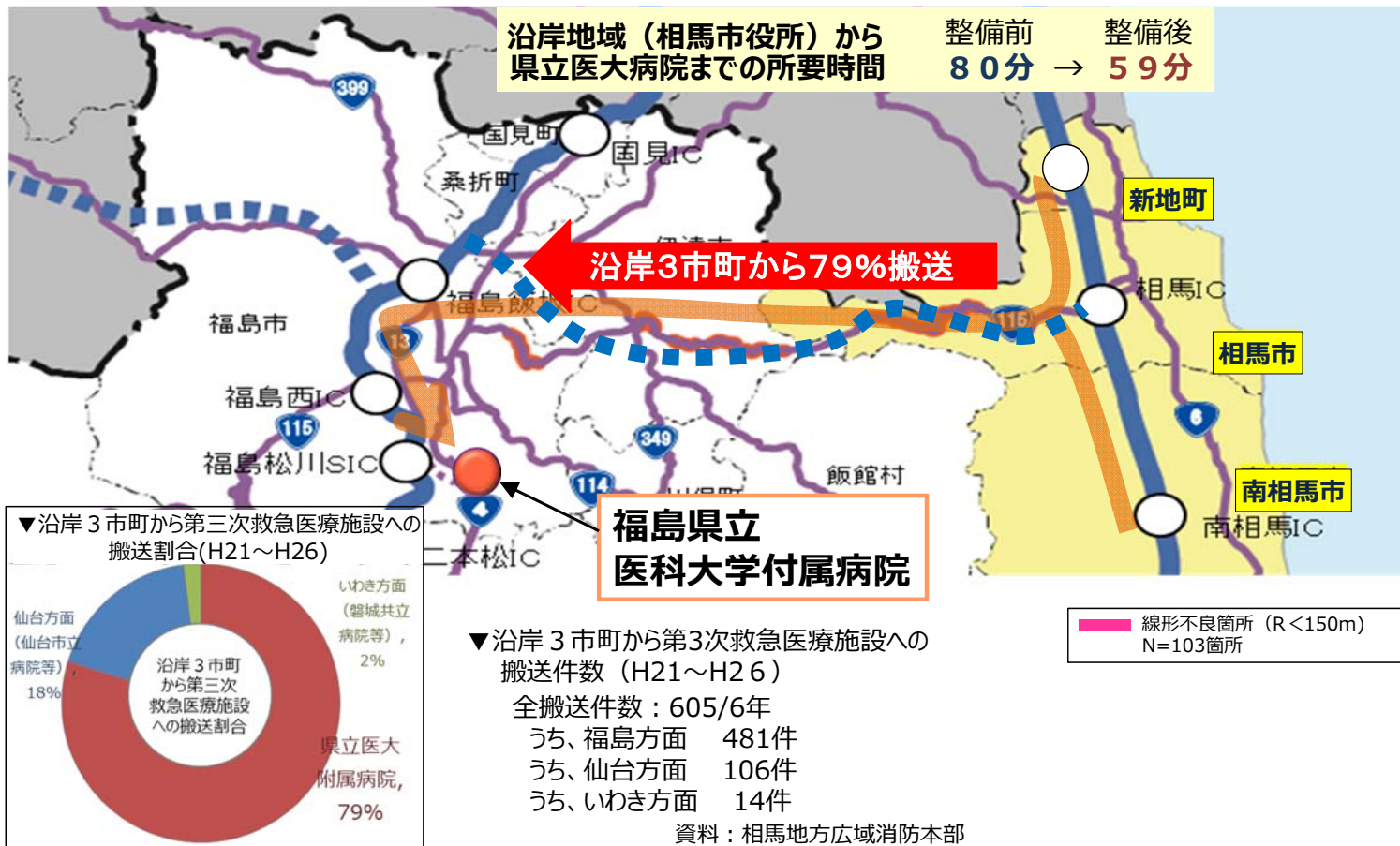


▼豪雪により寸断された国道
(伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め3日間)



メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



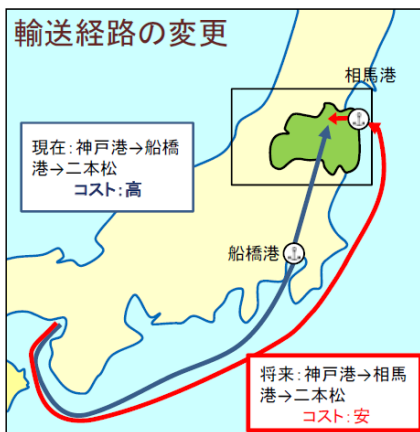
メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t
のコスト削減

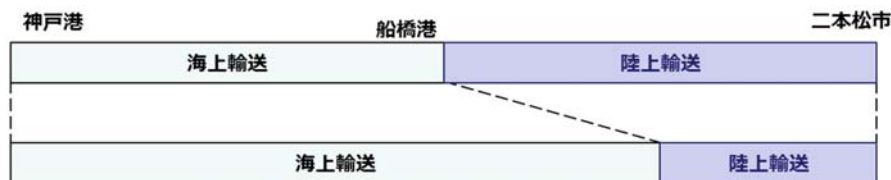


輸送方法の切り替えイメージ



before

after



相馬港